

大学院連合メンタルヘルスセンター学外実習



特定非営利活動法人 大学院連合メンタルヘルスセンター（MHC）にて学外実習を行いました。

大学院連合メンタルヘルスセンターは、働く人がいきいきと働くことができる社会の現実に向けて、メンタルヘルスの分野から法人や団体等にセミナー事業、また事業所へのストレスチェックや相談業務を実施されています。心理学専攻の学部生や大学院生を対象とした実習も実施されており、メンタルヘルスに対する支援を行う公認心理師、臨床心理士等の養成および支援もされています。



実習指導者の先生のお話

代表理事の三戸先生のご講義では、大学院連合メンタルヘルスセンターや労働の歴史などについてお話いただきました。心理職として働く人を支援するためには、**心理学の幅広い知識を得ることの必要性や、実際の労働現場を観察して、現場を知ることの重要性**について学ぶことができました。支援するためには、**働く人の心だけではなく、職場環境やその職場内での人間関係も知る**ことが大切なのだと感じました。



路地カフェ・こはる苑について



三戸先生のご講義後に、簡易版のストレスチェックを体験させていただきました。その後、路地カフェとこはる苑を見学させていただきました。こはる苑は、社会福祉法人こはる福祉会が経営されている、**知的障害のある人たちと彼らを支える人たちが共に楽しく働き学ぶ場**です。こはる苑では、あたたかな雰囲気の中**ひとり一人にあったやり方で作業**をされていました。また路地カフェでは、こはる苑のメンバーが働いており、お菓子作りの作業場を見せていただきました。働く人が働きやすくするために工夫がされていることを知り、**実際に現場を知ることの重要性**を改めて感じました。

編集後記

大変お忙しい中、ご講義いただきました三戸先生、そして見学させていただきました路地カフェ、こはる苑の皆さまに、心より感謝申し上げます。

作成：嶋田 写真撮影：阿蘇